



三種町

平成28年
8月1日 発行

第42号

議会だより



「投票権が18歳以上に」

発行：三種町議会

編集：議会広報編集特別委員会

〒018-2401 秋田県山本郡三種町鶴川字岩谷子8番地

TEL(0185)85-4831 FAX(0185)85-2178

URL <http://www.town.mitane.akita.jp/>

もくじ

補正予算の内容	2
採決結果、請願・陳情 特別委員会	3
議案審議、議案一覧	4～5
一般質問(6人が登壇)	6～11
新常任委員会等構成 編集後記	12

旧琴丘公民館を解体へ

平成28年6月定例会
補正予算の内容

会計名	補正前の予算総額	補正額	補正後の予算総額	
●一般会計	107億8,326万3千円	2億2,270万8千円	110億597万1千円	
【主な歳出】				
事業内容	事業費	財源		
		国	県	町
三種町誕生10周年記念事業	54万 円			54万 円
臨時福祉給付金	3,356万1千円	3,356万1千円		
子どもの貧困対策整備計画策定業務	371万1千円	225万 円		146万1千円
二ツ森地区水門工事、館村地区・金仏堤安全柵設置工事、志戸橋地区畑地化促進排水事業補助	2,319万 円		1,388万 円	931万 円
三種町商工会地域振興商品券発行事業	1,285万7千円			1,285万7千円
ゆめろん施設備品及び消耗品費	2,799万 円			2,799万 円
ゆうばる施設改修工事（真空温水ヒーター等）	593万5千円			593万5千円
旧琴丘公民館解体工事	6,504万3千円			6,504万3千円
B & G プール鉄骨塗装工事	1,693万 円			1,693万 円

●特別会計

会計名	補正前の予算総額	補正額	補正後の予算総額
国民健康保険事業勘定特別会計	27億4,606万8千円	△7,747万3千円	26億6,859万5千円
農業集落排水事業特別会計	1億6,972万9千円	78万7千円	1億7,051万6千円
衛生処理事業特別会計	2,045万8千円	13万2千円	2,059万 円

●水道事業会計

区分	補正前の予算総額	補正額	補正後の予算総額
収益的支出	3億2,452万1千円	131万5千円	3億2,583万6千円
資本的支出	1億8,859万 円	3,880万1千円	2億2,739万1千円

議案採決結果

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 棄…棄権 除…除斥 -…議場に不在

議案名	議員名																	結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
一般会計予算の補正について	大澤和雄	宮田幹保	安藤賢藏	三浦敦	清水欣也	工藤秀明	高橋満	石井秀基	鈴木一幸	小澤高道	成田光一	加藤彦次郎	後藤栄美子	堺谷直樹	伊藤千作	平賀真	児玉信長	可決

※採決の際に賛否が分かれた議案を掲載しています。
 ※議長は採決に加わりません。

請願 陳情 審査報告

陳情2件は次のとおり付託委員会で審議され、本会議で採択と決定しました。

陳情件名	陳情者氏名	付託委員会	結果
教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の要請について	秋田県教職員組合 執行委員長 山縣 稔 秋田県教職員組合能代山本支部 支部長 越後谷 茂	教育民生常任委員会	採 択
「子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を国に求める」意見書提出の陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳	教育民生常任委員会	採 択

議会改革特別委員会が 設置されました

平成28年6月議会定例会において、次のことを調査するため、特別委員会が設置されました。

- **名 称**
三種町議会改革特別委員会
- **設置の根拠**
地方自治法第109条及び三種町議会委員会条例第5条
- **目的**
議会改革に関する事項について調査及び研究を行うこと
- **調査期限**
目的の調査が終了するまで
- **委員長 (6名)**
委員長 清水 欣也
副委員長 工藤 秀明
委員 大澤 和雄
宮田 幹保
高橋 満
伊藤 千作

議案審議

専決処分の承認（平成27年度一般会計補正予算）

〈高齢者世帯等除排雪支援事業〉

問 排雪地として土地を提供してくれた住民には、固定資産税を免除してはどうか。また、高齢者が屋根の除雪を業者委託した場合に、一部補助してはどうか。

答 三種町にも一部雪の多い地域はあるが、豪雪市町村のような対応は無理がある。全体的に公平感を損なわないように検討したい。

〈可燃・不燃ゴミ収集運搬業務〉

問 運搬業務委託費の減額の理由は。また、契約の期間は。

答 減額は平成27年度分の入札差額による。また契約期間は、平成27年7月1日から平成32年6月30日の長期継続契約である。

三種町八竜健康保養施設の設置及び管理運営に関する条例の一部改正

問 ゆめろんの温泉プールを利用する場合は、講習を受けなければならないのか。

答 安全面を考慮し、利用者に利用の仕方がある程度浸透するまでは講習を受けてもらうことを考えている。

三種町家庭的保育事業等の設ける条例の一部改正

問 保育士とみなすことができる町長が認める者とは。

答 県が定める研修を受講するか、常勤として1年以上の経験を有する者である。

問 研修の周知はどのようにするか。また、1年以上の経験者とはどういった者か。

答 県主催の研修なので、県からの通知を受けて町の広報で周知する。新しい制度なので、1年以上の

経験者はまだいない。

平成28年度一般会計予算の補正

〈三種町誕生10周年記念事業〉

問 形として残る記念品を考えるとはどうか。また、サンドクラフトなどで、記念ブース等は考えているか。

答 記念品やイベントにおける記念ブースについてはこれから検討する。

〈保育所業務効率化推進事業費補助金〉

問 補助金の内容は。

答 保育所の業務を効率化するため、鶴川保育園及び浜口保育園に補助するものである。

〈子どもの貧困対策整備計画策定業務〉

問 事業の内容は。また、子どもの貧困対策整備計画という名称は差別意識を生まないか。

答 貧困状態にある子供や子育て家庭の実態調査と支援ニーズの把握を行い、支援対策を策定するための計画を立てるものである。実態調査については、子育て世帯へのアン

専決処分													報告		区分	審議された議案一覧	
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16		賛成
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	反対	状況
可決	可決	可決	可決	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認	報告	報告	結果

ケートや学校へのヒアリングを予定している。名称については、国から示されているものなので、ご理解願いたい。

〈畑地化促進排水事業費補助金〉

問 補助対象地区は、具体的にどの辺りか。また、排水事業の内容は。

答 場所については、金岡小学校の下、字名では熊沢である。事業の内容については、水田の排水性の向上ということで、もみ殻暗渠施工に対する助成である。

〈三種町商工会地域振興商品券発行事業〉

問 事業の内容と利用期間は。

答 地域振興券の発行事業で、プレミアム分は10パーセントとしている。利用期間は平成28年8月1日から平成29年1月31日までである。

問 商品券発行事業費を当初予算で措置しなかった理由は。

（産業建設常任委員会から）

答 安易に実施するべきではないという意見もあったことから、その検証に時間を要したことにより、当初予算に計上できなかったものである。

〈ゆめろんの消耗品費・施設備品費〉

問 多目的ホールの会議用テーブルと交流会用テーブルとの違いは。

答 会議用は研修等で使用される長テーブルで、交流会用は宴会等で使用される丸テーブルである。

問 多目的ホールのテーブルやイスが24人分計上されているが、240人も集客することがあるのか。

答 営業等で実績を上げていきたい。

問 多目的ホールのテーブルやイスの価格は適正か。

答 適正と考える。

問 食器関係も240人分計上されているが、選定するのはゆめろんの調理師か。これらは、公金ではなく、営業努力で購入するものではないか。

答 ゆめろんからの要望に基づいて精査の上、計上したものである。改修工事における初度備品なので、町で調達するものである。

問 浴槽に炭酸泉やファインバブル発生装置を設置する目的は。

答 健康増進のために設置するものである。

〈ゆうぱる施設改修工事〉

問 工事費の内容は。

答 機械室内にある真空温水ヒータ及び濾過機材の改修である。

〈B&Gプール鉄骨塗装工事・設計監理業務〉

問 民間の感覚からは、工事費及び設計費が高額と考えるが、また、完成までの期間は。

答 工事費については、3種ケレン（錆落とし）1回、錆止め塗装1回、フッ素樹脂塗装は2回という工程及び吊り足場ということで積算した結果である。なお、設計費には、工事の監理業務も入っている。工事完成までの期間は2か月を想定している。

発議	議 会 選 任 等						任命	平成28年度予算							指定管理	条例改正
議員派遣の件（県北地区町村議会議員研修会、町村議会広報研修会、町村議会議員研修会）	能代市山本郡養護老人ホーム組合の議員の選挙	能代市山本郡養護老人ホーム組合の議員の選挙	議会議長の選挙	議会議長の選挙	議会議長の選挙	議会議長の選挙	議会議長の選挙	水道事業会計予算の補正	衛生処理事業特別会計予算の補正	農業集落排水事業特別会計予算の補正	公共下水道事業特別会計予算の補正	国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正	一般会計予算の補正について	農業集落排水事業特別会計への繰入	指定管理者の指定（三種町八竜高齢者交流施設）	三種町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	14	16	16	16
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
可決	決定	決定	決定	決定	決定	決定	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決

※議長は採決に加わりません。
※1人欠席のため、全議案の採決総数は16人
になっています。

保育所、小中学校、児童クラブ等に対する自然災害対策は

町長 保育・教育活動全体を通じた防災教育に努めていく



平賀 真 議員

平賀

①日本全土で自然災害が頻発している。

被災者が発生した場合の救済制度、見舞金はどのようになっているのか。見舞金は条例化すべきではないか。
②一般住宅の耐震診断の進捗状況は。診断補助事業の拡大を検討してはどうか。
③保育所、小中学校、児童クラブ等では自然災害へ対策がどのように行われているか。

町長

①自然災害被災者に対する救済制度は、災害弔慰金の支給に関する条例があり、死亡された場合、「生計を主に維持している方は50万円」「その他の方は250万円」が支給される。この他に災害障害見舞金の支給や災害援護資金の貸し付け制度が設けられている。

さらに災害被災者に対しては見舞金支給要綱を定め、家屋の全壊、流失に対しては15万円、半壊、床上浸水に対しては5万円を支給するなど、特例的に要綱を改正し機動的な対応をしているので条例の制定は考えていない。

②耐震化の進捗状況は55パーセントと見込んでいる。耐震診断の補助の上限は3万円である。

この額は、耐震診断料が10万円程度である事を勘案すれば、適切な額と考えられるので、これを拡大することは考えていない。

③保育所、小中学校、児童クラブ等への対策としては、今後とも引き続き防災知識の普及を計画的に実践していく。特に予防措置、避難方法などについては、発育段階に応じた指導により、保育・教育活動全体を通じた防災教育に努めていく。



森岳小学校2年生の老人ホーム訪問

子供たちに福祉教育の実践の場を提 供すべき

「教育長」福祉施設への訪問などさまざまな体験活動を行っていく

平賀

家庭環境の多様化により、三世同居家庭が少なくなっていると推察される。

子供たちが高齢者と接する機会が減り福祉に対する意識が薄れてきているのではないかと。さまざまな機会を利用し福祉教育の実践の場を設けるべきではないか。

教育長

小中学校や保育所では、祖父母との体験学習、障がい者施設や老人福祉施設への訪問・交流、ひとり暮らしのお年寄りの学校行事への招待や年賀状の送付など、さまざまな出会いや体験活動をボランティア精神で行っている。

また、社会福祉協議会と連携し、障がい者に対する「心のバリアフリー」の大切さを学ぶとともに、困っている人を助けるサポーターの育成を目指している。

保育士は十分に確保されているのか

町長 保育士の確保に鋭意努力する



小澤 高道 議員

小澤 待機児童問題が社会的関心事となっているなか保育園の統廃合というわさが聞こえるが、町の今後の保育園運営についての考え方を伺う。まず町の待機児童の現状はどうなっているか。

町長 現時点では当町には待機児童はいない。しかし、育児休暇が終了した段階で入園を希望する場合については、保育士の確保ができれば入園を待つていただく可能性もある。

小澤 給料を含め待遇が悪いという全国的な問題があるが、公立保育園の保育士は確保されているのか。また、保育士不足で他市



下岩川保育園

町村への委託が多くなっているのではないか。

町長 当町の公立保育園の通常保育と延長保育を含めた勤務シフトは余裕のない勤務状態が続いており、日々時間外勤務等に対応している現状である。このため、町としても引き続

き保育士の募集をしていくとともに、待遇改善に努めながら保育士の確保を図り待機児童を出さないよう鋭意努力する。

また、町外保育園への入園については、現在13件となっていて、その理由としては「職場に近い」、「通勤途中に預けたい」といった、保護者の希望に沿った結果と理解いただきたい。

総務課長 保育士の採用については、今年度は何名かの採用をしたいと検討している。

れるなど、賑わっている。また、隣接する子供の遊具がある場所も家族連れで賑わっている。しかし、その奥のテニスコート周辺の利用が悪いように思われるので、森岳温泉の活性化をねらいとして、当町の高齢化に対応したクアオルトと並行した運動のできるグラウンドゴルフ場に整備してはどうか。

町長 惣三郎沼公園のテニスコート周辺の利用実態だが、開設当初は全県ゲートボール大会やテニスなど多くの利用があったが、現在では限られた利用しかなく、芝生の広場に比べて利用頻度は低い。本施設は、国の補助事業であるカントリーパーク事業で造成された経緯もあるので、利用者や周辺地区住民の意見も聞きながらグラウンドゴルフ場の整備の可否について検討する必要があると考えている。

惣三郎沼公園にグラウンドゴルフ場を

町長 検討する

小澤 惣三郎沼周辺は、きれいに手入れがされておき、釣り大会が開か

税務処理上の問題点が目立つようになっている

町長 職員に対し自覚と反省を促す



清水 欣也 議員

清水

わが町の税務課は非常によくやっている

と評価しているが、残念ながら、最近税務処理に関して法令や通達等の認識不足や調査不足などによる課税誤りによって加算金を付けて税を返還するケースが目立ってきているが、このことに関連して、次の点について確認する。

合併から平成27年度までの10年間で、不適切な税務処理を行ったことにより加算金を付けて返還した件数、金額及び加算金の額はいくらか。

町長

件数は40件で、返還金は833万400円である。

また、加算金の額は243万600円である。

清水

この4月に固定資産税の住宅用地特例措置の運用誤りにより、固定

資産税と国保税とを合わせて20年遡って963万2千800円を町民に返還したが、これは何らかの責任が求められることにはならないのか。

また、町の返還金支給要綱では、納税実績を示す資料がある場合は20年以上のものでも返還できることになっていて、しかし、町は20年以上の納税を確認できる書類がなかったとして返還の最長期間を20年としているが、私の調査では、町には20年以上の資料はあると認識しているがどうか。

町長

故意に不適切な事務を行ったとは認められないほか、重大な過失が

あったと結論付けるには難しいところもあるので、職員の処分等は考えていない。しかし、町民に迷惑をかけたのは事実なので、自覚をしっかりと持つとともに、「税務事務運用方針」に基づき適正な課税事務に努めていく。

税務課長

20年を超える納税実績書類があるかどうか、もう一度確認調査をしたい。

清水

町では、平成23年度から町民が世帯分離をした場合、その者を住民

税の扶養控除の対象にしないという方針をとってきた。しかし、町はこの取り扱いが不適切な運用であることを認め、本来扶養控除を適用すべきであったところを、控除しなかったことにより多く課税された分を

平成23年度に遡って加算金を付けて町民に返還した。しかし、この返還は、世帯分離者の扶養控除の申告をしている納税者の一部について調査し行われたものであり、申告者全員について調査すべきであると思うがどうか。

また、平成22年度までは扶養控除の申告をしていたのが、平成23年度になって無申告になっているものが一定数あり、これも町の方針によって申告を止めさせられた可能性も考えられるので、これについても調査すべきと思うがどうか。

税務課長

前者については再度確認したい

と思う。後者についても検討したい。

集会所等の改修補助条件の緩和を

町長 現行のとおりでお願いしたい



堺谷 直樹 議員

堺谷 集会所等の老朽化による修繕やバリアフリー等改築を早急に行う必要がある場合、今ある補助金制度の条件を緩和するなど、自治会の負担軽減を図るべきと考えるがどうか。

町長 合併時は所要額の2分の1を限度に補助していたが、平成25年度からは一世帯当たりの負担額が2万円を超える場合、超過する部分を補助することにより自治会の負担軽減が図られたと認識している。

堺谷 一世帯当たりの負担額を2万円にした経緯は。

企画政策課長 2万円程度が妥当との判断から設定した。



林崎自治会館

堺谷 2万円の修繕費を負担できないから集会所には行かないと言っているお年寄りもいると聞く。自治会の使いやすい補助金でないという意味がない。高齢者割合に応じた基準緩和などの対応はできないか。

企画政策課長 高齢化世帯が多い自治会は苦勞されていることと思うが、空き家を活用するとか、自治会で工夫してもらえるとありがたい。

堺谷 町民の目線に立った使いやすい補助金制度をお願いする。

森岳温泉郷の活性化を

町長 検討する

堺谷 余剰温泉を利用し、冬場でも栽培可能なハウスを建てて町民に貸し出しては。また、かっぱの足湯とは

別に、ふるさと文化館周辺に足湯を設置し、森岳温泉郷のアピールをしたらどうか。

町長 温泉施設改良工事により、オーバーフロ―は少なくなる。また、足湯は費用面から現実的でないと考えている。

堺谷 リニューアルしたゆめろんを見たが、非常に素晴らしい施設となり、交流人口の拡大に期待できるものとなっているが、その反面、森岳温泉の民間施設は自らの企業努力だけで太刀打ちするには、非常に厳しい建物となっている。飲食店を含む森岳温泉の民間企業に配慮する思いがあるならば、ぜひ要望の實現を。

町長 森岳温泉郷とカントリーパークの自然環境は素晴らしいと思っっている。石倉山も含めて全体の景観を見ながら、検討してみたい。

国保税の引き下げを

町長 今年度は現状を維持する



伊藤 千作 議員

伊藤

政府は、低所得者の多い国保の保険者対策として、平成27年度から約1千700億円の財政措置を行った。厚労省はこれについて、被保険者の保険料負担の軽減やその伸びの抑制が可能で被保険者一人当たり約5千円の財政改善効果があるとしている。

その一方で、一般会計等への繰り入れについて、引き続き計画的・段階的に解消するような方向を強めており、財政支援1千700億円を国保税の負担軽減や引き下げのために活用するか、それとも市町村が行っている一般財源の法定外繰

り入れを解消させることを目指すのか、せめぎ合う状況となっているが、財政支援を着実に住民負担の軽減に繋げる取組みが重要である。

厚労省の資料によると、国保の見直しについては、公費拡充などにより財政基盤を強化することによって、被保険者の保険料負担の軽減や、その伸びの抑制が可能としているが、これらの財政支援を一般会計からの法定外繰り入れ解消に活用するのではなく、直接、住民負担の軽減、税の引き下げに回すべきである。

町長

保険者支援分の町の負担も加えた平成27年度の国保会計への支援額の増加は約2千113万円で、これを被保険者数4千789人で割ると、一人当たり4千413円となる。この支援は、今後も継続されることになっている。

また、保険財政共同安定化事業拡充による拠出金と交付金の差が、平成27年度は2千214万円の収入超過となつて、前年に比べて1千541万円の増加となつたこともあり、平成27年度の国保財政は、1千954万円、一人当たりになると約4千80円の赤字で済むものと考えている。

赤字になった最も大きな要因は、保険給付費が一人当たり34万1千609円と前年度に比べ、率にして8.2パーセント増加したことによる

ものであり、保険者支援分による支援にもかかわらず、国保財政は非常に厳しいといわなければならない。

そのため今年度は、税率を据え置くことで進めたいと考えている。



住宅リフォーム助成事業、申請時の図面の省略化を

町長 手続きの簡素化、省略化を検討する



大澤 和雄 議員

町長 住宅リフォーム助成事業では、町への申請時に平面図を添付することになっている。これは、リフォームにより間取り等を変える場合に、写真だけではわかりづらいために提出を求めてきたものであ

大澤 三種町住宅リフォーム助成事業では、補助金の交付申請の際に、リフォーム工事を行う住宅の平面図及び工事施工箇所の写真を添付することになっている。これに対し、秋田県の住宅リフォーム推進事業では、併用住宅の場合と建築基準法の規定で必要な場合にのみ図面を添付することになっている。

三種町でも、県と同様に、住宅の外観全景及び工事部分の着手前の写真のみで対応できないか。

大澤 秋田県地方税滞納整理機構徴収特別対策室による三種町の平成26年度差押徴収額内訳では、預貯金差押9件、生命保険差

町長 国保税等の過度な滞納処理はないか適正に行っている



住宅リフォーム助成事業

り、要綱に省略できる定めがないことから、要綱どおり求めてきたものである。今後、間取りの変更のない場合など平面図を省略し

ても差し支えないと認められる申請については、手続きの簡素化、省略化を図る観点から、要望に応えられるよう検討していきたい。

押11件となっているが、三種町では機構にどのような基準で処理依頼をしているのか。また、差押えされた世帯に低所得者等は含まれていないのか。

さらに、厚生労働省では、地方税や国民健康保険法で減免の対象にしている「特別の事情にある者」に、自治体が判断すれば生活保

護基準以下の者も入れてもよいと言っているが、処理件数の中にそのような世帯が含まれているか。結論として、過度な滞納処理はないのか、実態はどのようになっているのか伺う。

町長 本町から秋田県地方税滞納整理機構には、機構の処理事案選定基準に基づき、個人住民税の滞納が50万円以上で、なおかつ滞納処分を行うに足りる財産を有するなど、納税資力があると認められる者について処理依頼をしているが、この基準を満たす事案の中から、機構事務局と町とで協議の上、依頼する者を最終決定している。

このように、選考基準として、住民税の滞納があることが基本項目となっているので、国保税単独で滞納処理の依頼を行うことはできない。

さらに、低所得者や生活保護基準以下の特別な事情があるものは、処理依頼に含まれないことを了解していただきたい。

新常任委員会等構成

●常任委員会

任期：平成28年7月4日～平成30年6月30日

	総務常任委員会	教育民生常任委員会	産業建設常任委員会
委員長	平賀 真	清水 欣也	工藤 秀明
副委員長	伊藤 千作	後藤 栄美子	高橋 満
委員	宮田 幹保	大澤 和雄	小澤 高道
	石井 秀基	安藤 賢藏	加藤 彦次郎
	成田 光一	三浦 敦	堺谷 直樹
	金子 芳継	鈴木 一幸	児玉 信長

●議会運営委員会

任期：平成28年7月4日～平成30年6月30日

委員長	副委員長	委員	
宮田 幹保	高橋 満	安藤 賢藏	三浦 敦
		小澤 高道	成田 光一

●議会広報編集特別委員会

任期：平成28年7月4日～平成30年6月30日

委員長	副委員長	委員	
大澤 和雄	後藤 栄美子	石井 秀基	成田 光一
		加藤 彦次郎	堺谷 直樹

●議会改革特別委員会

任期：平成28年6月10日～調査終了まで

委員長	副委員長	委員	
清水 欣也	工藤 秀明	大澤 和雄	宮田 幹保
		高橋 満	伊藤 千作

●能代山本広域市町村圏組合議会

任期：平成28年7月4日～平成30年6月30日

議会議員			
金子 芳継	平賀 真	清水 欣也	工藤 秀明

●能代市山本郡養護老人ホーム組合議会

任期：平成28年7月4日～平成30年6月30日

議会議員
鈴木 一幸

※三種町議会委員会条例の規定により、常任委員等の任期は2年となっています。

編集後記



じゅんさい、メロンなどの野菜が旬の時期となりました。また、ゆめろんも改修され、ゆめつぴいともども大変賑わっているようです。

さて、現在の編集委員による広報の編集は、今号で最後となります。

簡素で、見やすく、わかりやすくをモットーに作成にあたってまいりましたが、いかがだったでしょうか。

目まぐるしい天候に体がついていきません。皆様もどうかお体を大切に。

鈴木 一幸 記

お詫びと訂正

議会だより第41号に掲載しました記事「三種の星々直売所シリーズ」の中の「八竜産直センター メロディアン」の寄稿者名等に誤りがありましたので、お詫び申し上げます。

【誤】
八竜産直センター メロディアン
センター長 高橋 輝美

【正】
あさどり会
会長 佐々木美枝子